



目指している
医療がある

第22期
中間報告

2013年4月1日▶
2013年9月30日

株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

“生命を守る人の環境づくり”を、これからも。



代表取締役社長
古川 國久

グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

“生命を守る人の環境づくり”を、これからも。

基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2013年Key Word

緊張感を持ってトランペット経営を!

『進化』と『成長』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、創業来の目標でありました売上高2,000億円を突破し、次の成長目標として、売上高1兆円の企業集団を目指し、現在までに蓄積してまいりましたノウハウと実績、“自立自主”を旨としながらも連携を強化したグループ力、これらをベースに当社グループはこれからも業界のイノベーターとして歩んでまいります。

現在、当社グループを取り巻く環境は、地域医療の改革、70～80年代に建てられた病院の建て替えなどにより、中長期的に堅調な推移が想定されます。また、国内経済が回復基調の中で、医療機関に収益改善の兆しが現れ、マーケットは拡大基調にございます。しかしながら、販売価格交渉における価格下げ圧力、競争の激化は続いており、総じて厳しい状況となっております。

こうした中、当社グループは、主力のトータルパックシステム事業を、新しい医療環境を作り上げていくという意味をこめて、当期より「トータルパックプロデュース事業」と名称を変更いたしました。今後も「旬」を捉えたサービスと質の高いサポートを提供し、国内市場を深耕していくとともに、経済・医療レベルの発展が著しい海外市場を切り開いてまいります。そして、この歩みを確かなものにしていくために、人材の育成・強化に努めております。当社グループは、創業来の理念である「SHIP」、人間としての生きる基本姿勢「至誠惻怛」の共有と、現場でのOJTを通じて誠実で責任ある人材を育ててまいります。また一方、この先の売上高1兆円を目指していくためには、グループ内で有する経営資源を最大限活用するとともに、外部の方々のお力を借りる必要性も高まっていくものと考えております。人材とネットワーク、当社グループはこの両輪でさらなる事業の拡大を目指してまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高 1 兆円を目指して

業績について

通期計画達成に向けて

当第2四半期の状況としましては、主力事業であるトータルパックプロデュース (TPP) 事業の売上計上が下期に偏重するものの、メディカルサプライ事業における新規受託案件の稼働、調剤薬局事業のM&A効果などにより、売上高は前年同期比1.6%増の1,095億円を計上いたしました。

利益面につきましてはヘルスケア事業において、昨年開設した介護施設の立ち上げ費用が発生したこと、既存施設における入居稼働状況が改善中ということもあり、前年対比では減少いたしました。概ね計画通りに推移しております。

このような状況下、計画達成に向け当社グループ一丸となって一層の営業努力を行ってまいります。

業績結果 (単位：百万円)

	期初予想 (2013年5月7日発表)	2013/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	103,000	109,586	6.4%
営業利益	4,000	4,844	21.1%
経常利益	5,150	5,313	3.2%
四半期純利益	3,000	2,974	0.9%

事業基盤の整備・拡充

グループ力の強化に向けて

売上高1兆円の企業集団を目指していくには、グループ事業基盤の整理・拡充が重要なものとなります。この筆頭が人材の強化です。現在、当社グループでは、売上高の伸長を支える人材育成に向けて、人材開発室の新設、世代を越えたOJTの強化、競争原理の導入など数々の施策を行っております。また一方、M&Aなどにより成長してきたセグメントにおいては、それぞれの強みを補完しながら、より競争力の高い商品やサービスを作り上げてまいりたいと考えております。さらに当社グループの基本原則である“自立自主”の徹底に向けて責任体制の明確化を推進してまいります。

このように当社グループは、次なる成長に向けたグループ基盤の強化を図ってまいります。

事業基盤の整備・拡充

- 1 すべての土台となる人材の育成・強化
- 2 より競争力の高い商品・サービスの構築
- 3 グループ力の拡充に向けた責任体制の構築

新しい取り組みについて

新しい枠組みでの事業展開

近年、海外では新興国を中心とした経済発展が顕著であり、医療に求められるレベルも年々高まっております。このような中、当社グループにおきましては昨年度より海外市場への進出を本格化させており、高度化する医療ニーズへ応えられる施設をトータルプロデュースしてまいりたいと考えております。この度、海外進出を本格化させる上で、日本式の医療機器や医療サービスなどを海外に展開する目的で設立されたMEJ(メディカルエクセレンスジャパン)に入会し、情報収集や新たな事業機会の発掘に努めております。さらにヘルスケア事業では、三井住友銀行とNECキャピタルソリューションと共同し、ヘルスケアREITの組入れ資産を保有するための資産保有会社を設立するなど、当社グループは絶えず進化しております。また、IT化が進む医療現場に対応し、電子カルテシステム、ネットワークシステムなどの受注拡大も推進しております。

当社グループは、これらの新しい取り組みを通して業界の「旬」を追い求め、成長を続けてまいります。



MEJ発足記念式典

ヘルスケアREITの立ち上げに向け、 資産保有会社を設立

ヘルスケア領域のより良い社会基盤づくりに
貢献してまいります。

近年、高齢化の進展に伴いヘルスケア施設に対する需要が高まる中、新規供給を促す新たな手段としてヘルスケアREITの設立に向けた環境整備が官民一体となって進められております。

こうした流れの中で、当社グループはこの度三井住友銀行、NECキャピタルソリューションと共同して有料老人ホームやサービス付高齢者向け住宅などの介護施設に特化して投資するREIT（ヘルスケアREIT）を立ち上げるため、資産保有会社を設立いたしました。また、ヘルスケアREITの資産運用を受託する予定である資産運用会社の設立につきましても、具体的に着手しております。

今回の立ち上げは、当社グループのTPP事業における蓄積されたノウハウと、ヘルスケア事業での地域密着型サービスから都市部の大型複合施設までを開発・運営する介護領域の幅広いノウハウを活かすものとなります。

今後ヘルスケアREITは高齢化社会の進展に伴い、市場の拡大が期待されております。当社グループは、これからも整備促進が求められるヘルスケア領域の社会基盤づくりに貢献してまいります。

■ 資産保有会社の概要

名称	SMBCヘルスケアホルダー合同会社
出資者	(株)三井住友銀行 NECキャピタルソリューション(株) 当社
資産規模（当初目標）	200億円
保有対象不動産	有料老人ホーム サービス付高齢者向け住宅 医療モール など

医療現場のIT化対応を強化

システム導入実績を着実に積み上げております。

当社グループ会社、アイネット・システムズの提供する電子カルテシステム及びネットワークシステムの受注が続いております。近年、医療現場におけるIT化の必要性が認識されるものの、特に大規模病院以外の普及率は、費用面などの問題から必ずしも十分なものとは言えないのが現状です。しかしながら、医療サービスの高度化、現場職員の負担軽減、さらには「施設から在宅へ」の流れの中で、患者さまの在宅生活を支えるための情報ネットワークはなくてはならないものとなっております。

こうした中で、当社グループでは在宅医療連携拠点病院とクリニック、在宅介護施設などを結び、患者情報を一気通貫で共有するネットワークシステムや、200床規模の病院における電子カルテを共同パッケージ化し、メンテナンスや運営コストを下げ災害時の情報バックアップにも対応できるシステムを展開しております。特に電子カルテシステムは、和歌山県下約20病院へご採用いただける見通しとなっております。

当社グループでは、これからも地域医療発展のため質の高いソリューションを提供してまいります。

■ ネットワークシステムの概要



仙台医療プロジェクト、 開業に向けて順調に進行中

グループの想いを象徴する本プロジェクトをもとに、
被災地での医療環境の向上に努めてまいります。

「シップ仙台ビル」の工事が佳境を迎えております。

延床面積約2万㎡、高さ53.8mを誇る本プロジェクトを、当社グループは千里中央プロジェクトに続く大型医療複合型施設として、また東北地域の事業拠点として位置付けております。被災地に何かしたいという強い思いから始まったプロジェクトでしたが、復興需要による資材と人材不足など、懸案事項もあったものの、来年6月のオープンに向けて順調な進捗となっております。このプロジェクトを通じて、現地の医療・介護を守るとともに、雇用創出にも貢献してまいりたいと考えております。

■ シップ仙台ビル



施設概要

- 有料老人ホーム（定員300名）
- 医療モール（6診療科）
- 楽リハ（デイサービス・パワーリハビリテーション）
- 調剤薬局
- 保育所
- 訪問介護、訪問看護
- ケアプランセンター

日本最大級の病院・福祉施設展示会 HOSPEx Japan 2013に出展

本年もメーカー系会社が出展し、好況を博しました。

10月23日(水)～25日(金)の3日間、東京ビックサイトにおいてHOSPEx Japan 2013が開催されました。当社グループからは、昨年に引き続きセントラルユニ、酒井医療のメーカー系会社が出展いたしました。期間中はあいにくの空模様でしたが、3日間で約5万8千人の方が来場され、活況の中で各種イベントが催されました。

当社グループブースにおきましても、各社がそれぞれ掲げるテーマのもと工夫を凝らした出展で、多くの方に当社グループをPRする機会となりました。当社グループでは、今後もこのような機会を積極的に設け、技術力のPRに努めてまいります。

CONCEPT



SAKAimed
明日に踏み出すチカラ。酒井医療

社会・文化貢献活動を推進

古川医療福祉設備振興財団が設立されました。

当社の代表取締役古川國久は、この度その私財(当社株式50万株及び現金1百万円)を投じ古川医療福祉設備振興財団を設立いたしました。

当社グループは創業より「生命を守る人の環境づくり」をグループアイデンティティとして、その時々において「旬」な医療を追求・提供するためのエンジニアリング能力を持つ人材の育成に取り組んでまいりました。当財団は、このような思想に基づく人材育成を、日進月歩の勢いで発展する医療業界で広く行い、ライフイノベーション(医療福祉分野の革新)によって社会に寄与すべく設立されました。

本社近隣の環境を整備いたしました。

人々の生活と密接に係わる医療・福祉業界に属する当社グループは、本業のみならず、CSR活動を通じて人々のより良い生活環境づくりに取り組んでおります。この度、ボランティア活動の一環として、大阪本社近隣のプランターを整備いたしました。医療業界に「旬」を提供する当社グループではありますが、沿道的环境整備を通して、近隣の皆さまへ「季節感」と「癒し」を提供させていただいております。



プランター整備の様子

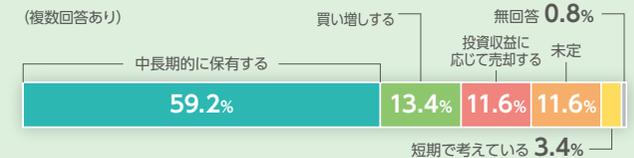


アンケートへの ご協力ありがとうございました。

第21期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、374名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2013年9月30日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？



その他様々なご意見の一部

- 株主としては配当の増額はうれしい。来期も期待したい!!
- 真新しい淀川キリスト教病院で約1ヶ月お世話になり、素晴らしい病院でした。
- 至誠惻怛の基本姿勢で1兆円企業に向けて成長していく貴社を誇りとして応援します。
- 国内外にとっても大変有益な重要なお仕事とっております。応援いたします。
- 株主優待制度を行ってほしい。
- 株主通信、簡単で見やすい。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシブヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

連結貸借対照表

	当第2四半期 2013年9月30日現在	前第2四半期 2012年9月30日現在	前 期 2013年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	81,835	82,768	91,551
現金及び預金	20,229	22,918	18,850
受取手形及び売掛金	41,829	43,892	54,113
商品及び製品	8,397	6,989	7,649
仕掛品	1,830	2,149	2,031
その他	9,651	6,960	9,005
貸倒引当金	△ 102	△ 142	△ 99
固定資産	56,192	48,107	52,837
有形固定資産	29,701	27,446	27,839
建物及び構築物(純額)	8,848	8,948	8,962
土地	8,273	8,117	8,230
賃貸不動産(純額)	8,529	8,788	8,709
その他(純額)	4,049	1,592	1,937
無形固定資産	10,837	7,199	11,214
投資その他の資産	15,654	13,462	13,783
資産合計	138,028	130,876	144,389

(単位：百万円)

	当第2四半期 2013年9月30日現在	前第2四半期 2012年9月30日現在	前 期 2013年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	67,205	66,567	73,405
支払手形及び買掛金	43,771	48,876	53,493
短期借入金	9,543	2,180	3,281
未払法人税等	1,897	2,113	3,176
賞与引当金	1,401	1,384	1,481
その他	10,591	12,013	11,972
固定負債	29,335	25,862	28,436
社債	3,542	2,526	4,034
長期借入金	21,466	18,998	20,063
退職給付引当金	1,982	1,907	2,006
その他	2,344	2,430	2,332
負債合計	96,541	92,430	101,842
【純資産の部】			
株主資本	40,323	37,315	41,547
資本金	5,699	5,667	5,691
資本剰余金	10,068	10,036	10,061
利益剰余金	26,905	21,612	25,795
自己株式	△ 2,349	△ 1	△ 1
その他の包括利益累計額	768	565	630
その他有価証券評価差額金	671	576	567
為替換算調整勘定	96	△ 11	63
少数株主持分	395	565	369
純資産合計	41,487	38,446	42,547
負債純資産合計	138,028	130,876	144,389

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2013年4月 1日～ 2013年9月30日	前第2四半期 2012年4月 1日～ 2012年9月30日	前 期 2012年4月 1日～ 2013年3月31日
売上高	109,586	107,808	224,363
売上原価	95,365	92,295	193,402
売上総利益	14,221	15,513	30,960
販売費及び一般管理費	9,376	8,762	18,416
営業利益	4,844	6,751	12,544
営業外収益	684	738	1,496
営業外費用	215	205	450
経常利益	5,313	7,284	13,589
特別利益	4	1	111
特別損失	52	133	272
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,265	7,151	13,429
法人税等合計	2,271	2,688	4,756
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	2,993	4,463	8,672
少数株主利益	19	57	82
四半期(当期)純利益	2,974	4,406	8,589

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2013年4月 1日～ 2013年9月30日	前第2四半期 2012年4月 1日～ 2012年9月30日	前 期 2012年4月 1日～ 2013年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,778	10,846	11,118
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,302	△ 1,117	△ 8,456
財務活動による キャッシュ・フロー	2,798	△ 2,089	730
現金及び現金同等物に 係る換算差額	55	△ 6	26
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,330	7,632	3,419
現金及び現金同等物の 期首残高	17,790	14,371	14,371
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	19,121	22,003	17,790

主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位:百万円)

	2011/3	2012/3	2012/9	2013/3	2013/9 当第2四半期	2014/3 (通期予想)
売上高	162,432	188,839	107,808	224,363	109,586	242,500
営業利益	7,856	10,132	6,751	12,544	4,844	13,500
経常利益	8,850	11,251	7,284	13,589	5,313	14,500
四半期(当期)純利益	5,931	7,026	4,406	8,589	2,974	8,600
総資産	116,822	129,989	130,876	144,389	138,028	—
純資産	30,035	35,256	38,446	42,547	41,487	—

セグメント情報(2013年4月1日~2013年9月30日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件の完成件数は前年同期に比べ増加いたしました。大型プロジェクトの完成案件が少なく、前年と比べ下期での計上が多い見通しであること、メーカー系各社において新規商品に係る開発費を計上したこと等により減収減益となりました。

この結果、売上高は32,942百万円(前年同期比16.7%減)、営業利益は3,018百万円(同39.8%減)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、SPD施設の受託件数が増加するとともに、昨年度受託した施設の業績が期初より寄与したことにより売上高は増加いたしました。新規

受託施設に係る商品や人員を確保するための経費が増加いたしました。

この結果、売上高は56,140百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は839百万円(同4.6%減)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年開設した介護系施設の立ち上げ費用を計上したこと及び既存施設における入居稼働率の改善が進まなかったこと等により、営業利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は9,357百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は264百万円(同18.8%減)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、既存店舗が

当初計画以上に順調に推移するとともに、昨年12月に実施した(株)医療サービス研究所のM&Aにより店舗数が増加したこと、新規出店店舗の運営も順調であったこと等から堅調に推移いたしました。

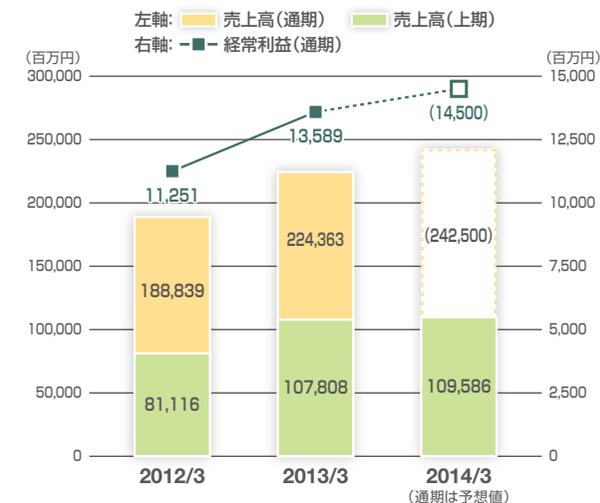
この結果、売上高は10,714百万円(前年同期比40.3%増)、営業利益は832百万円(同19.5%増)となりました。

その他

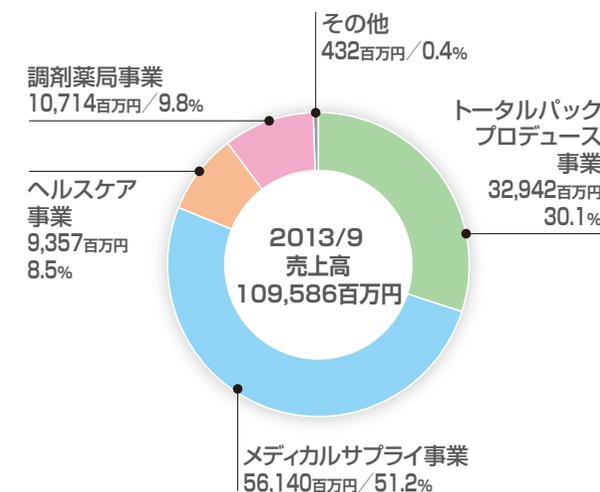
その他におきましては、動物病院事業は計画通り進捗した一方、理化学機器の販売については低調に推移いたしました。

この結果、売上高は432百万円(前年同期比15.9%減)、営業利益は61百万円(同20.9%減)となりました。

業績トレンド



セグメント別売上高構成比(2013/9)



会社情報

(2013年9月30日現在)

会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役社長 古川 國久
 資本金 56億99百万円
 決算月 3月
 従業員数 連結3,538名(正社員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130
 FAX : 06-6369-3191

役員

代表取締役社長	古川 國久	久隆
取締役副社長	小川 宏	順太
専務取締役	増田 橋	浩一
専務取締役	大橋 浩	一行
取締役	沖本 林	宏裕
取締役	小林 山	川博
取締役	横山 細	山本
取締役	山本 和	田義
社外取締役(独立役員)	和田 元	廣志
常勤監査役(社外)	岩水 中	尾野
社外監査役	水野 大	昌博
社外監査役	大 山	博 康

おめでとう!

ガンバ大阪、J2優勝とJ1昇格が決定!



当社がスペシャルスポンサーとなっているガンバ大阪が、J2優勝とJ1昇格を果たしました。当社では、これからもガンバ大阪を応援してまいります。

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

株式関連情報

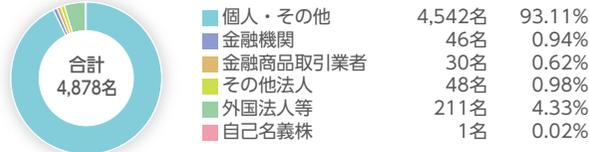
(2013年9月30日現在)

株式の状況

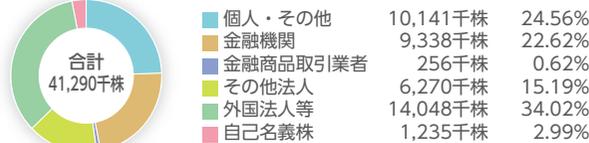
発行可能株式総数.....64,000千株
 発行済株式総数.....41,290千株
 株主数.....4,878名

株式の状況

株式分布状況 (株主数別)



株式分布状況 (株式数別)



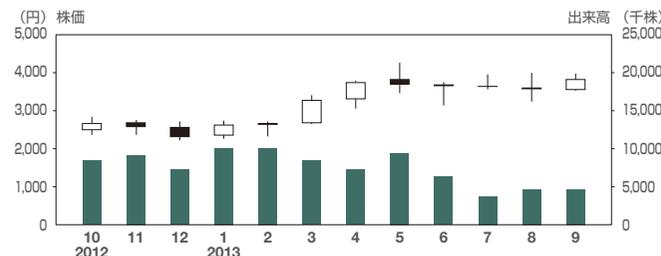
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

大株主の状況

株主名	保有株式数	保有割合
株式会社コッコー	3,988千株	9.66%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,872千株	6.96%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,539千株	3.73%
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント プリテイツシユクライアント	1,452千株	3.52%
春日興産合同会社	1,400千株	3.39%
古川國久	1,236千株	3.00%
自己株式	1,235千株	2.99%
古川幸一郎	1,230千株	2.98%
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー フィデリティ ファンズ	1,166千株	2.82%
ザ チェース マンハッタン バンク	955千株	2.31%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株価・出来高の推移

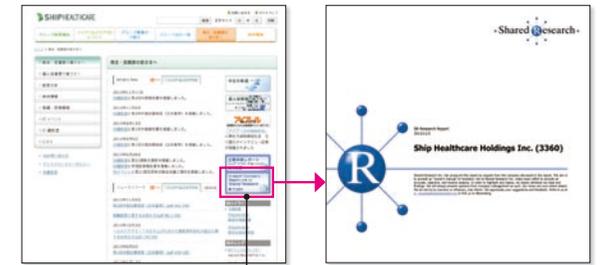


株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領 3月31日
 株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年6月中
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社(旧 クリーンホスピタルサプライ(株)の株主様)
 みずほ信託銀行株式会社(旧(株)セントラルユニの株主様)
 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check [http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings\(3360\)](http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings(3360)) to view the report.